

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市山田地区会館

団体名：中部互光・コスモコンサルタント運営共同体

1 管理運営全般について

①施設管理運営の基本方針

- 地区会館の設立趣旨を踏まえて、「地域活動の充実あってこそ名古屋市全体の活動充実化に繋がる」と考え、活動を陰から支える私たちの業務に自信と誇りを持ち、利用者の成果を共に喜ぶ管理者になります。
- 地域密着施設を長年管理運営しているからこそ、「安心・安全・公平・平等」を強く意識し、日常の管理運営をしていきます。
- 安定した受付及び施設管理業務、現状に合った利用者サービスの実施、地域と手を取り合った協働、行ってきた業務の継続と修正、事業の充実を大きなテーマとします。
- 新型コロナウイルスの猛威により多大な影響を受けた施設利用について、5年先の未来を見ながら市民活動の回復を目指します。

②管理運営体制

● 管理運営体制

区分	人数
館 長	1名
副 館 長	1名
パ ー ト 職 員	4～7名（労働時間により人数増減）
本 部 応 援	4名が応援態勢に入る

● 組織と役割

2社からなる共同事業体である「中部互光・コスモコンサルタント運営共同体」は中部互光株式会社が施設管理を、株式会社 COSMO CONSULTANT が運営の各業務を担当します。複数の地区会館管理運営を行っていますので、運営共同体本部職員が代務・増員・調整等の業務を行います。

● 平等利用について

全ての人々に平等で公平な運営を行うと言う公共施設のあるべき基本的な姿勢を持つとともに、地区会館の利用者層の特徴（地域住民、高齢者）も踏まえて相対的平等の体制も取りつつ日常の受付から施設利用時に平等性を確保していきます。

● 職員育成（研修・資格の取得）

コンプライアンス・労務管理・個人情報保護・接遇・清掃・労働安全・警備・普通救命救急処置・防火管理・防災管理・人権・事業展開、SDG s、パソコンシステム各研修及び、消防・防災訓練を行うことで、職員の育成を図り、スキルアップを行います。また、地区会館ごとにサービス介助士・防災士の資格を1名ずつ取得します。

2 実施業務の計画について

①指定管理業務

● 施設の供用等

① 施設の使用申込みの受付、使用許可等

初日受付時、通常受付時、減免申込時、還付受付時、一般・営利利用の判断など、当運営共同体が10数年の経験を元に作成した事務取扱マニュアルを踏まえて、適切に運用し基本的な受付業務に職員による差が出ないようにします。

② 施設の広報等

ホームページ、広報なごや、地域回覧板、SNS（グループ LINE など）を活用して、施設内外の活動のPRを行い、施設の賑わいを創生していきます。

③ 利用者のご意見収集と対応

ご意見箱、利用者アンケート、自主事業開催時のアンケート、直接のご意見については、内容を館長・副館長でまずは把握し、改善を求められるものについては、改善策などを館内掲示、職員全員に周知します。判断の難しい内容については、本部も含め情報共有をし、多くの意見を踏まえた上で判断していきます。

● 施設の維持管理及び修繕

目視や、長年の修繕・保守による経験値を活かして施設の状態の把握をしっかりと行い、お預かりする精算対象修繕費を年間を通して計画的に、優先順位を踏まえ、修繕工事を行います。5年計画で修繕やLED化、バリアフリー化を進めていき、安心してご利用頂ける施設として、良好な状態を保っていく努力をしています。

● 災害・事故発生時など、緊急時の対応

災害発生時には指定避難所等の役割を果たすため、毎年繰り返し時流に合わせた訓練や研修を行い、慌てず落ち着いて状況に対応して参ります。事故発生時には、内容の共有や救急等への対応など、緊急時対応マニュアルを元に、人命第一で対応して参ります。

②地域活動の振興等に関する事業（自主事業）

● 自主事業の概要

以下のポイントを考えながら各事業を実施し、地域振興に貢献して参ります。

- 世代別、教養・文化・健康などのジャンル別のバランスを取った事業
- 地区会館の通常利用の妨げにならず、むしろ講師との協力により活性化を目指した事業
- 中央まで行かないと体験できない事業
- 施設からの出前事業としてのアウトリーチ事業
- 複数の地区会館が連携して行うスケールメリット事業
- 地域のお施設との共催事業
- 利用者様や地域の皆様とのコミュニケーションが計れる事業

● 主な自主事業

会館まつり／4地区会館スケールメリット事業（作品展、バス旅行、親善スポーツ大会）／地域共同事業／他の指定管理施設との共催事業／アウトリーチ事業／各種講座

3 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

● 各年度提案指定管理料 (単位：千円)

施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
山田地区会館	20,299	20,129	20,089	19,844	19,974

● 各年度収支計画

(単位：千円)

収入・支出	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入	指定管理料	20,299	20,129	20,089	19,844	19,974
	利用料収入	5,600	5,700	5,800	5,900	6,000
	事業収入	890	890	890	890	890
	その他収入	135	135	135	135	135
支出	人件費	16,461	16,461	16,461	16,461	16,461
	水光熱費	4,636	4,636	4,636	4,636	4,636
	事務費	770	770	770	770	770
	保守管理費	1,384	1,324	1,384	1,239	1,469
	事業費	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160
	その他	2,513	2,503	2,503	2,503	2,503

● 経費削減の考え方

なごやSDGsグリーンパートナーズ認定施設として、以下の活動を行い経費削減に繋がります。

- つくる責任 使う責任：システムの強化を図り、極力紙を使わなくて良いようにする。
- 気候変動に具体的な対策を：エネルギーの使用量管理、LED化の推進を進める。
- 海と陸の豊かさを守ろう：研修・事業（公演・公演）などにより職員や参加者の意識を高める。（ゴミ排出の減少）